

疫 学 部

第53回日本衛生学会、昭和58年4月、大阪、ウイルス性結膜炎の起因ウイルスの分子レベルの解析を含めた疫学的研究
：中園直樹^{*}、沢田春美^{*}、石井慶蔵^{*}（北大医）

第1回クラミジア研究会、昭和58年6月、東京、人およびドバトにおけるオウム病の血清疫学：野呂新一

第96回日本獣医学会、昭和58年8月、帯広、網走支庁管内で発生した多包虫症について、2. 野鼠の多包虫感染情況について：八木欣平、高橋健一、石下真通、服部畦作

第30回日本寄生虫学会、北日本支部大会、昭和58年10月、盛岡市、実験的二次多包虫症の研究 2. 多包虫感染コトントラットにおけるELISA反応の経過：川瀬史郎、佐藤秀男

第30回日本衛生動物学会北日本支部大会、昭和58年10月、盛岡、ヘビ類安全防除法の開発：服部畦作、高橋健一、八木欣平、永沼靖久（イカリ消毒）

第30回日本衛生動物学会北日本支部大会、昭和58年10月、盛岡、I G R (Insect Growth Regulator) のイソヌカカに対する羽化阻止効果：高橋健一、八木欣平、服部畦作

第31回日本ウイルス学会、昭和58年10月、大阪、アデノウイルス8型の分子疫学的研究、制限酵素によるアデノウイルス8型分離株の同定と経年変化：藤井伸一^{*}、中園直樹^{**}、沢田春美^{*}、石井慶蔵^{**}、藤永 薫^{*} (*札医大、**北大医)

第30回日本寄生虫学会北日本支部大会、昭和58年10月、盛岡、北海道東部において初めて認められたヒメネズミの多包虫自然感染例について：八木欣平、高橋健一、石下真通、服部畦作

第30回日本寄生虫学会北日本支部大会、昭和58年10月、盛岡、北海道東部における野鼠の多包虫感染状況について：高橋健一、八木欣平、石下真通、服部畦作

第30回日本臨床病理学会記念総会、昭和58年10月8日～10日、東京、ELISAによるヒト包虫症の血清学的診断について
：熊谷 満、佐藤秀男

第35回北海道公衆衛生学会、昭和58年11月、函館、道内の小児にみられた急性胃腸炎の流行と起因ウイルス様粒子：沢田春美、由布久美子、桜田教夫、笹島吉平^{*}、佐古一夫^{*}、須賀信之^{*}（函館保健所）、塙田正勝^{**}、樺原正行、八木 満^{**}、水尻清広^{**}、藤沢繁子^{**}（新得保健所）

第35回北海道公衆衛生学会、昭和58年11月、函館、一小児科病棟での急性胃腸炎流行において検出されたウイルス様粒子：沢田春美、由布久美子、桜田教夫、松宮英視^{*}、富樺武弘^{*}、崎山幸雄^{*}（北大医）

第42回日本公衆衛生学会、昭和58年11月、横浜、北海道でみられた小球形ウイルス様粒子による急性胃腸炎について：
沢田春美

第42回日本公衆衛生学会、昭和58年11月、横浜、急性出血性結膜炎ウイルス(Enterovirus Type 70) のヒト胎児腸管器官培養における増殖：沢田春美、中園直樹^{*}、石井慶蔵^{*}（北大医）

第35回北海道公衆衛生学会、昭和58年11月、函館、北海道における先天性代謝異常症および先天性甲状腺機能低下症のマス・スクリーニングについて(6)：市原 侃、林 玲子、仲谷敦子、鬼原芳子、橋本ゆかり、中田英子、森三佐雄、中村朝香、中野かおり、前田典子、尾崎真一、井上泰子、熊谷 満

第35回北海道公衆衛生学会、昭和58年11月、函館、特別講演野生動物と公衆衛生：服部畦作

第32回日本感染症学会東日本地方会総会、昭和58年11月10日～11日、東京、北海道における多包虫症の現状について：
熊谷 満

第11回代謝異常スクリーニング研究会、昭和59年1月、東京、新生児甲状腺機能亢進症とクレチニン症マス・スクリーニング：松浦信夫、野原八千代（北大医）、福士 勝、高杉信男（札幌市衛研）、橋本ゆかり、市原 侃

食品科学部

日本分析化学会、日本化学会北海道支部、昭和58年夏季研究発表会、昭和58年7月、函館、キレート樹脂ユニセレックを用いた微量重金属の分離・濃縮：佐藤千鶴子、多賀光彦(北大理)

第51回日本細菌学会北海道支部総会、昭和58年9月、札幌、芳香族化合物分解菌の単離と分解能：長谷川伸作

日本食品衛生学会第46回学術講演会、昭和58年10月、健康人ふん便中ウェルシュ菌のエンテロトキシン産生性と芽胞の発芽性：砂川紘之、武士甲一、亀山邦男、長谷川伸作、梅村康子、三田村弘、安藤芳明

第39回日本畜産学会北海道支部大会、昭和58年10月、江別、原料乳格付検査法の改善に関する研究(日本畜産学会北海道支部賞受賞者講演)：笹野 貢^{*}、岡田迪徳、長南隆夫(北海道生乳検査協会)

日本分析化学会第32年会、昭和58年10月、新潟、液膜型ジンコン選択性電極を用いる鉛(II)およびカドミウム(II)の直接キレート滴定：新山和人、伊藤八十男

第35回北海道公衆衛生学会、昭和58年11月、函館、無添加食肉製品における食中毒原因菌の検索：長谷川伸作、梅村康子、砂川紘之

第35回北海道公衆衛生学会、昭和58年11月、函館、薄層クロマトグラフィー／Flame Ionization Detector 法による抗生物質の検出：斎藤富保、金島弘恭、岡田迪徳

薬 学 部

日本化学会第47春季年会、昭和58年4月、京都、Spirobroussonin A および B の構造：高杉光雄^{*}、新井野信之^{*}、姉帯正樹、正宗直^{*}、白田昭^{**}、高橋幸吉^{**}(北大理)(蚕試)

日本薬学会第103年会、昭和58年4月、東京、ケルセンの土壤における分解と残留(2)—ケルセンの土壤細菌による分解—：小川廣、金島弘恭、斎藤富保、姉帯正樹

日本薬学会第103年会、昭和58年4月、東京、^{*}チルスズ化合物のラット分離肝細胞における代謝：兼俊明夫、大山 徹、金島弘恭、新村寿夫(東横学園・女子短)

日本生薬学会第30回年会、昭和58年10月、徳島、芍薬中のガロタンニンの定量：西澤 信、山岸 喬、野中源一郎、^{*}西岡五夫^{*}(九大薬)^{*}

日本生薬学会第30回年会、昭和58年10月、徳島、芍薬の変色に関する基礎的研究：桂 英二、林 隆章、金島弘恭、山岸 喬

日本生薬学会第30回年会、昭和58年10月、徳島、芍薬のエラージタンニンについて：林 隆章、西澤 信、山岸 喬、野中源一郎、^{*}西岡五夫^{*}(九大薬)^{*}

日本生薬学会第30回年会、昭和58年10月、徳島、ボタン科植物の成分比較、シャクヤクについて：山岸 喬、西澤 信、本間尚次郎、^{*}堀越 司、^{*}畠山好雄(北薬試)、木島正夫(北薬大)^{**}

第35回北海道公衆衛生学会、昭和58年11月、函館、嫌臭シンナー剤の開発に関する調査研究について(第3報)嫌臭シンナー剤の嫌臭効果について：姉帯正樹、金島弘恭

日本生薬学会北海道支部・生薬の栽培と品質に関する研究会、昭和59年3月、札幌、特別講演、中国の生薬事情—四川省産野生薬用植物について：山岸 喬

日本薬学会104年会、昭和59年3月、仙台、Rheum 属植物の成分比較(その1)：山岸 喬、西澤 信、畠山好雄^{*}、本間尚次郎^{*}、沢井清道(北薬試)^{*}、柏田良樹^{**}、野中源一郎^{**}、西岡五夫(九州大学薬学部)^{**}

日本薬学会第104年会、昭和59年3月、仙台、HPLCによる大黄の多成分分析法(市販品大黄の成分比較)：西澤 信、山岸 喬、柏田良樹^{*}、野中源一郎^{*}、西岡五夫^{*}(^{*}九大薬)

生 活 科 学 部

第53回日本衛生学会総会、昭和58年4月、大阪、ラット肝臓中の金属の定量に関する研究・凍結乾燥法の評価について
：内野栄治、神 和夫

日本分析化学会・日本化学会北海道支部1983年夏季研究発表会、昭和58年7月、函館、海藻抽出液中の無機ヒ素（三価、五価）、メチルヒ素およびジメチルヒ素の選択的水素化物生成一原子吸光法による定量：神 和夫

第9回Spore Seminar、昭和58年8月、筑波、ウェルシュ菌芽胞のイオン性発芽における表面荷電の役割：都築俊文
安藤芳明

日本分析化学会第32年会、昭和58年10月、新潟、液膜型ジエチルジチオカルバミン酸イオン選択性電極を用いる金属イオンの滴定：伊藤八十男、新山和人

日本放射線影響学会第26回大会、昭和58年11月、京都、無機ヒ素化合物の哺乳動物細胞のDNA修復に及ぼす影響：奥井登代、藤原美定（神戸大医）

日本薬学会第104年会、昭和59年3月、仙台、ヒ素化合物の細胞毒性とDNA修復におよぼす影響：奥井登代